

まちのくすりやさん 第26号

今回のおはなし

「バセドー病」

手作りマスク

Q&A



圧倒的に多い女性の病気

バセドー病とは？

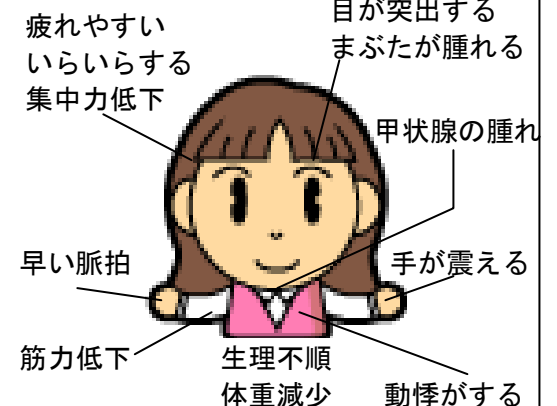
バセドー病は、甲状腺ホルモンが過剰に作られる病気です。バセドーはドイツ人医師の名前です。男女比は1対4で圧倒的に女性に多く、20・30代で発症するケースが多いです。ただ更年期の症状だと思いこんでいたら、バセドー病が隠れていた例もしばしばあります。甲状腺ホルモンは成長と代謝に関係し、過剰に分泌されると、**疲れやすい、いらいらして落ち着きがない、甲状腺のある首の部分がはれる、集中力が低下する、眠れない、動悸がする、手足が震える、髪の毛が抜けやすい、血圧が上がり、微熱、発汗、暑がり、生理不順、かゆみ**などの症状が起きたりすることがあります。

自己免疫疾患の一つで、首ののどぼとけの下にある甲状腺が自己抗体の攻撃を受けて腫れ、ホルモンの分泌が過剰になると考えられています。また、顔や目つきがきつくなることもあり、目が出てくる眼球突出は代表的な症状で3割程度にみられます。**早期発見、診断が何より大切です。**治療の基本は薬。疲れやすさなどの自覚症状の大半は通常、薬を飲み始めて2ヵ月で消失し、普通の生活ができます。激しい運動や妊娠・出産も支障ありませんが、コントロールがうまくできていないと流産しやすいので、妊娠中の女性は特に注意が必要です。勝手に薬をやめると症状が再発することが多く、薬の量を減らして中止できるまでに2～5年かかることが多いです。薬の副作用にも注意が必要で、白血球の減少、肝臓障害、じんましんなどもあります。服用初期は2週間に1度の白血球検査が義務付けられています。

眼球突出の患者さんは、物が二重に見える等生活の支障が出ることもあり、治療は放射線照射、ステロイド療法、外科手術の3種。この症状が出来る人の大半が喫煙者であるため、真っ先に禁煙が鉄則です！

上記の症状及び首の腫れやしこり、激しい動悸やだるさを感じたら、バセドー病を疑って内科を受診して下さい。 また、バセドー病とは逆に、甲状腺ホルモンの分泌が減る「橋本病」は、全身の新陳代謝が悪くなり、疲れやすい、元気がなくなる、もの忘れ、寒がり、汗が出ないなどの様々な症状がありますが、ホルモン剤の補充で症状が抑えられます。

バセドー病の主な症状



ペーパータオルでマスク作り

装着により咳やくしゃみで飛沫を周囲に飛ばすことを抑止します。
(N95 マスクのような、付けた人がウイルスを吸入しなくなる程の効果はありません。)

 <p>1. 用意するもの ペーパータオル 輪ゴム2個 ホッチキス</p>	 <p>2. 2つに折る 紙は始めに2～3枚重ねても</p>	 <p>3. さらに真ん中に合わせて折る</p>	 <p>4. 折った部分を半分に折り返す</p>
 <p>5. 裏返して真ん中に合わせてさらに折りたたむ</p>	 <p>6. 最後に真ん中で完全に折りたたみ図の様なジャバラ状態に</p>	 <p>7. 両端に輪ゴムを乗せてホッチキスで図のように留める</p>	 <p>8. 出来上がり 開くとこんな感じ</p>
		装着したところ 輪ゴムの位置を調節すれば 大人から子供まで使えます	

新潟県片貝医院 HP より



新型インフルエンザにご注意下さい。
外出後は、必ずうがい、手洗いを十分して下さい。
浦安市役所内 健康増進課 電話 351-1111 FAX 381-9083
市川健康福祉センター(保健所)「発熱相談センター」
電話 047-377-1101

ご意見、ご質問、ご感想など、お気軽にお寄せ下さい。
(社) 浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内
Tel 047-355-6812 (月～金: 10～15時)
Fax 047-355-6810
メールアドレス toiwase@urayaku.jp